

妙安寺だより

No 195 号

【年末年始のご挨拶】



今年は、終戦80年の節目の年でもありました。これほど世界的に戦争を無くそうとする動きがありながら、途絶えたことがない悲しい現実があります。以前に、お笑いタレントで俳優のタモリさんが次のように語っていました。

「戦争がなんで終わらないか？それは愛があるからだ。その心は、恋人が暴力を受けたら犯人に仕返ししたくなるだろう。大切なものが壊されたら、壊した相手を恨むだろう。

そこに愛さえなければ恋人のことを大切だと想っていなければ犯人にやり返しに行かないし、壊した相手を恨むこともない。ラブ・アンド・ピースというのは矛盾していて、ラブさえなければ、基本ピースで、戦争なんて存在しないんだよ。でも、俺らは感情があるから、感情がある以上、愛がある。愛がある以上、戦争はなくならない」と言われていました。

タモリさんの言われる「愛」を、親鸞聖人は「縁」と表現し、私達に教えておられます。それは、「人間は、縁があれば如何なる振る舞いをもする」と言われています。続けて、「私達は、縁あれば、人を百人でも千人でも殺す。逆に縁が結ばれなければ、百人でも千人でも殺したいと思っても一人も殺さない」とも言われています。

戦争の善悪を問うのではなく、また無くならない現実を嘆くだけでなく、人間の本質を捉え直していくことが節目の意義ではないでしょうか？ そして、浄土真宗の教えは、その本質を知り得ることで、第3者として傍観して善惡の判断をするのではなく、当事者の如くその痛みや苦惱に心を寄せ、せずにはおれない人間の悲しみに身を添わせていくことを大切にしています。

情報化社会となり、善し惡しのみが横行し、一人の存在の重さや深さが見失われています。だからこそ、このことを大切に歩んでいきたいと思っています。

どうぞ、来年もよろしくお願い申しあげます。



連載「仏教のおしえ = 十二光（仏様の具体的な12のはたらき）=」



今月は、『正信偈』にある「**清淨歓喜智慧光**」の仏様の具体的なはたらきを表す12の光の6番目「**清淨光（しょうじょうこう）**」についてです。この「**清淨光**」は、私たちの三毒の煩惱の中でも「貪欲（欲の心）」を照らす働きを表現しています。仏教では、「染汚（ぜんま）」と言う言葉があります。心が欲に染まり、身が汚れ、その行動は貪りの一途を辿ることを言い表しています。その染められた汚れを清らかに浄めてくださる阿弥陀仏の働きが清淨光です。「清淨」とは、染汚の反対で、清らかでありのままとうことです。

では、阿弥陀仏の清淨光に照らされたらどうなるのでしょうか。欲がなくなったり、少なくなるということではありません。欲に染まり切っていることを、また貪りの一途を辿っている事実を教え、自らの欲に翻弄されないということです。

親鸞聖人は、

悲しきかな、愚禿鸞、愛欲の広海に沈没し、名利の大山に迷惑して、（中略）恥ずべし傷むべし。

（親鸞聖人『教行信証』信巻）

とおっしゃっています。「悲しきかな、愚禿鸞」は、自分で自分を見定められない愚かな親鸞だと自覚された叫びです。なぜなら、「愛欲」は愛憎の欲の心、「名利」も地位・名誉に対する欲の心です。自らの内に、その愛憎の欲は海のごとく広く有り、地位・名誉を求める欲は大きな山のごとく有るにもかかわらず、その事実を知らず、翻弄されている自らを「恥ずべし、傷むべし」と懺悔なさっているのです。このような「恥ずべし、傷むべし」という懺悔が、清淨光に照らされた姿なのです。そして、「悲しきかな」と自分で自分を見定められない事実を知り得ることが、自らの欲に翻弄されない、仏の清淨光を仰ぎ続ける歩みの始まりとなるのです。

※三毒の煩惱=人間が苦しむ根本的な原因とされる「貪欲・怒り・無知」の三つの心



第8回 妙安寺手作り市 開催

開催日は、2026年4月26日(日)

詳細については、次号にチラシを同封します♪



【報恩講 報告】

本年もおかげさまで無事にお勤めできました。

このたびの法要も、ご参拝いただきました皆様、そして当日お手伝いいただいた総代会・世話人の方々、皆様のご理解とご協力をいただき、お勤めできたと思っております。ありがとうございました。

本年も私が法話をさせていただきました。海外での布教活動で強く感じた日本特有の感覚：仏と靈と先祖が混合している現状や「世間」を神様のように絶対視してしまう日本人の在り方などを紹介し、その姿に目覚めることが願われているのが浄土真宗の教えであることをお伝えさせていただきました。亡き大切な方をどのように受け止めていくか、自身の歩みをどのようにしていくか、手を合わせる縁をとおして共に見つめていきたいものです。

浄土真宗は、報恩講を勤めて1年の終わりとし、同時に始まりとします。ここには、今年1年の自分自身の歩みを確かめ、これから1年の歩む出しとすることが願われています。



【カレンダー送付のご案内】

2026年度（令和8年）のカレンダーをお送りいたします。

今年は、金子みすゞさんの易しい言葉が添えられた物です。とても評判の良いカレンダーです。

予定も書けるようになっており、お寺の行事もしっかり書けますよ☆

【篤志寄付ご報告】



心

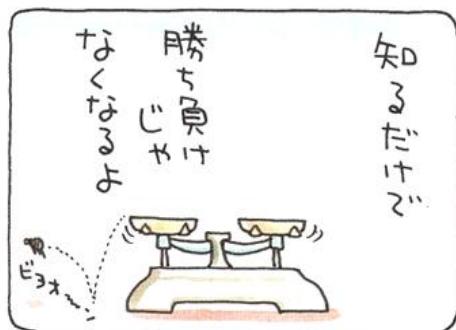
8月25日 お仏供米60kg
小山 逆井 周三様



9月12日 お仏供米10kg
みむら 倉持 義彦様



9月19日 お仏供米5kg
新潟県 三浦 誠治様



10月20日 仏具代100万円
古河市 堀川 貢弘様

11月 8日 切袴
土浦 等覺寺様

令和7年12月1日

真宗大谷派(京都・東本願寺)

妙 安



0297 (34) 3116

ホームページ <http://www.myouanji.net>

門信徒及びご縁のある方々 各位